

賀茂通信(かもめーる)

第3号 平成18年6月1日 発行

静岡県賀茂健康福祉センター
賀茂保健所
賀茂児童相談所
賀茂身体障害者更生相談所
賀茂知的障害者更生相談所

健康福祉センターに就任して

賀茂健康福祉センター所長 萩原 孝子

この春、賀茂健康福祉センター所長を仰せつかり、予想していなかったポストだけに、就任とともに、当センターの担う保健・医療・福祉の総合的な推進という業務の幅の広さと深さに戸惑いを感じているのが偽らざる心境です。

またその業務は、正に管内地域のあらゆる世代にわたる住民全ての生命と生活の根幹に直接係わってくるだけに、自分に課せられた役割の重要性と責任の重さを痛感しています。

健康福祉センターは、その担う保健・医療・福祉のさまざまな機能が、つねに住民の多様なニーズと時代・社会の要請に的確に応えられることが大切であって、そのためには関係機関や団体等との連携を密にし、地域にしっかり根ざした木目のこまかい行政に心掛けたいと思っています。

このような心構えでセンターの業務と運営に積極的に取り組んでいきたいと思っておりますが、もう一方、時間の許す限り、当地域の誇る多くの見事な自然の景観に心なやませ、また地元の由緒ある豊富な歴史、伝統、文化を存分に味わいつつ、あわせ自らの生活もこの管内地域に根ざしていきたいと期待に胸をふくらませています。



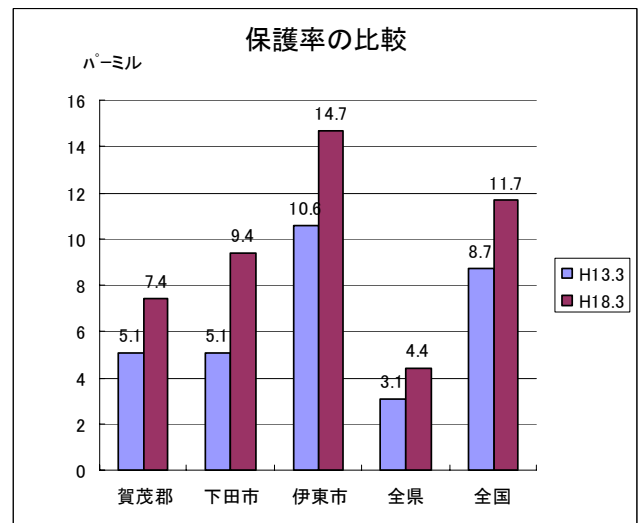
<生活保護一口メモ>

～保護率の上昇と地域間格差～

保護率は、バブル崩壊後の約10年間全国的に上昇してきましたが、景気回復によって最近の上昇傾向は鈍化しつつあります。

県内の保護率は、西部地区が低く東部地区が高い傾向にあります（東高西低）、特に熱海市、伊東市が上位1、2位を占めるなど伊豆東部地区の高さが目立っており、最も高い熱海市と最も低い裾野市とでは20倍程度の格差があります。

このような保護率の地域間格差は、地域ごとの失業率や高齢化などの進展状況、都市部での生活困窮者の増加などによるものと考えられ、また、伊豆東部地区の保護率が高いのは、基幹産業である観光の長期低迷が大きな要因と想定されます。



- (注)1 保護率(パーミル)は、人口千人に対する割合
2 全国のH18.3数値はH17.12の数値
3 資料出所：福祉行政報告例

◆◆石綿(アスベスト)健康被害者救済給付制度のお知らせ◆◆

県では石綿(アスベスト)による健康被害者の迅速な救済を図るため、救済給付の実施主体である環境省所管の独立行政法人環境再生保全機構との委託契約により、最寄の健康福祉センター(保健所)において救済給付の申請を受け付けております。

救済給付の対象は、労災保険などで補償されない石綿が原因の中皮腫や肺がんの発症者などです。

申請方法の御相談等は健康増進課(0558-24-2052)まで、制度に関する詳細等は、環境再生機構のフリーダイヤル(0120-389-931)までお問合せくださるか、ホームページ上(<http://www.erca.go.jp/>)でも知ることができますので御活用ください。

ドクターヘリ

ドクターヘリって何？

ドクターヘリとは、医療機器を搭載し、医師・看護師が搭乗して医療行為を行うことのできる救急医療専用のヘリコプターのことです。

厚生労働省は、平成13年度よりドクターヘリ導入促進事業を創設し、ドクターヘリ事業の全国的実施を推進しています。

現在、全国の10病院に整備され、静岡県でも、平成13年に浜松市の聖隷三方原病院（西部ドクターヘリ）、平成15年に伊豆の国市の順天堂大学医学部附属静岡病院（東部ドクターヘリ）

と、2機配備され、全県をカバーする体制が整備されました。順天堂大学医学部附属静岡病院に配備された東部ドクターヘリは、静岡市以東の市町を対象に運行しています。



ドクターヘリのメリットは？

①機動性

出動要請を受けると、迅速に救急の現場へ医師及び看護師を派遣します。現場で診断、初期治療を開始し、最適の医療機関を選定し、短時間で収容先へと搬送します。これにより、救命率の向上や後遺症の軽減が期待されます。

②僻地での救急医療体制の強化

伊豆地域においては、地域の特殊性から、いくつかの問題があります。つまり、①急峻な山や入り組んだ海岸線で各生活区域が分断されているといった地形的な問題、②観光地であるため、道路が渋滞しやすいといった交通面での問題、③リハビリテーション病院、小規模な病院が多く、高度な医療設備を備えた病院が少ないといった問題、などが挙げられます。

ドクターヘリはこのような問題を克服するものとして期待されます。

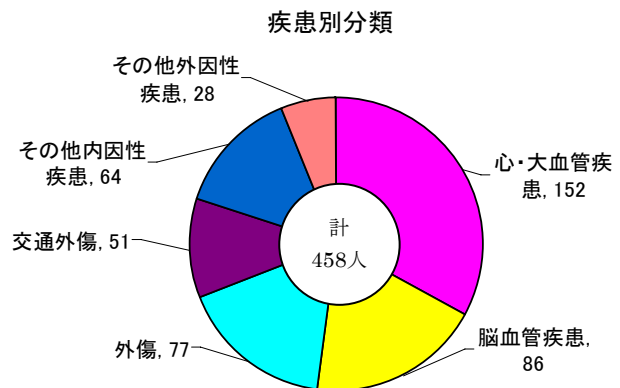
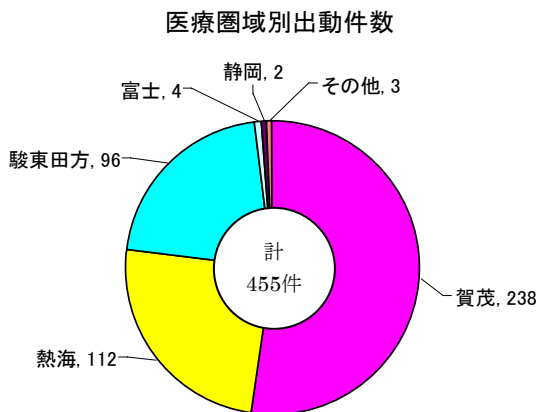
③災害時の医療救護活動の充実

発災が懸念されている東海地震等の大規模災害時においても、ドクターヘリの活躍が期待されます。

ドクターヘリの出動実績は？

平成17年度（平成18年2月末現在）の東部ドクターヘリの出動実績は、455件で、そのうち238件（52.3%）が賀茂医療圏（下田市及び賀茂郡）への出動となっています。このことから、賀茂医療圏において、いかにドクターヘリが活躍しているかが分かります。

疾患別では、緊急性を要する、心・大血管疾患、脳血管疾患が上位を占めています。



* 食育活動を紹介します *

食育とは、自分で自分の健康を守り、人生を心豊かに力強く生きるための健全で豊かな食生活を送る力を育てることをいいます。特に、幼児期は、基本的な生活習慣を身につけていく年齢であり、この時期から望ましい生活習慣を送ることが大切になります。今号では、子どもを取り巻く保育所、幼稚園、地域等と連携した昨年度の取組について紹介します！

子どもの健康づくりスタッフ研修会

子どもの健康づくりの活動ができるスタッフを養成するために、南伊豆町立南上保育所職員等を対象とした研修会を開催しました。研修内容は、「食育とは」「子どもの健康状態・食生活」等で、実践編として、南上保育所と差田保育所で食育劇を行いました。劇の実施後には、「給食時間に関心をもって言葉かけができるようになった」「子どもたちとの日常会話の中に、『おみそ汁を飲んできたよ』『ひじきを食べてきたよ』等、家庭の献立内容が聞けるようになった」との感想があがりました。



食育媒体は、地域で活動する在宅栄養士や行政栄養士の手作りです。



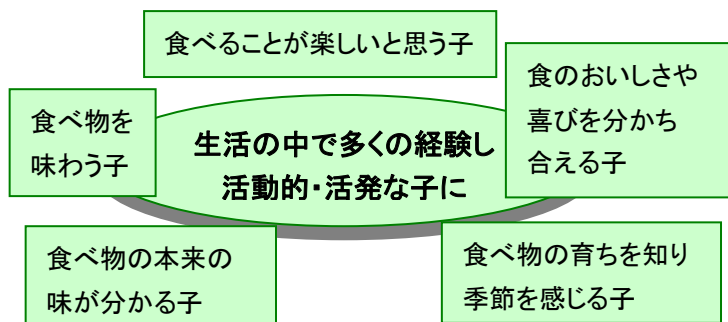
南伊豆町子どもの健康づくり研修会

南伊豆町役場で、地域全体で子どもの健康づくりを推進する体制づくりを目的とした研修会を開催しました。保育所、幼稚園、健康づくり食生活推進協議会、在宅栄養士、歯科衛生士等が集まり、「日頃子どもの健康や生活について感じる事、取り組んでいる事、必要だと思うこと」について意見交換をし、食育目標の検討や具体的な食育計画の準備について話し合いました。

この研修会から子どもへの食育・健康づくりを通して、こんな子どもになってほしいという願いをこめ、右図のように「生活の中で多くの経験をし、活動的・活発な子に」という目標を設定しました。

- 意見交換：生活の中で気になること・問題
- ・偏食の子が多い ・好きな物しか食べない
- ・朝ごはんを食べてこない子がいる
- ・おなかがすいたというメリハリがない
- ・食事のときにマナーが悪い 等

●こんな子どもになってほしい！



担当から一言

食育は、家庭、保育所、学校、職場、地域等と一緒に取り組むことが非常に大切ですが、食の基本はまずは家庭にあります。食材を一緒に買いに行く、食事づくりのお手伝いをする、ちょっとしたスペースがあれば野菜を栽培してみるなど、方法は様々です。さあ、健康で心から豊かな生活を送るために、「食」について改めて考えてみませんか？

～当センターでは、今後も賀茂管内全体の子どもの健康づくりを推進していきます！～

お子様の医療費を助成します



静岡県では、お子様が入院したときや、特定の障害や病気にかかったとき、次のような公費による医療費の助成制度を実施しています。

未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下、又はからだの発育が未熟なまま生まれ、入院が必要なお子様（1歳未満）の医療費を助成します。

小児慢性特定疾患治療研究事業

悪性新生物（ガン）、慢性腎疾患、ぜんそく、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血友病等血液疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患にかかり、病気の状態が一定の基準を満たすお子様（18歳未満。ただし、継続して20歳になるまで延長可能）の医療費を助成します。

自立支援医療（育成医療）

肢体障害、視覚障害、聴覚障害、言語・咀嚼機能障害、心臓障害、腎臓障害、その他先天的内部障害等で、外科的な治療が必要なお子様（18歳未満）の医療費を助成します。

いずれの制度も、指定された医療機関での治療が対象になります。また、保護者の方の所得税額等によって、自己負担額をお支払いただきます。

詳細については、下記の連絡先まで、お電話ください。

賀茂保健所 保健福祉課 （電話0558-24-2056）
松崎保健支援室 （電話0558-42-0262）



静岡県賀茂健康福祉センター

〒415-0016 下田市中 531-1（静岡県下田総合庁舎 4階・2階）

電話 0558-24-2032

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/kenhuku/kf-21/>

松崎保健支援室 〒410-3624 賀茂郡松崎町江奈 255-3 電話 0558-42-0262



古紙配合率100%再生紙を使用しています